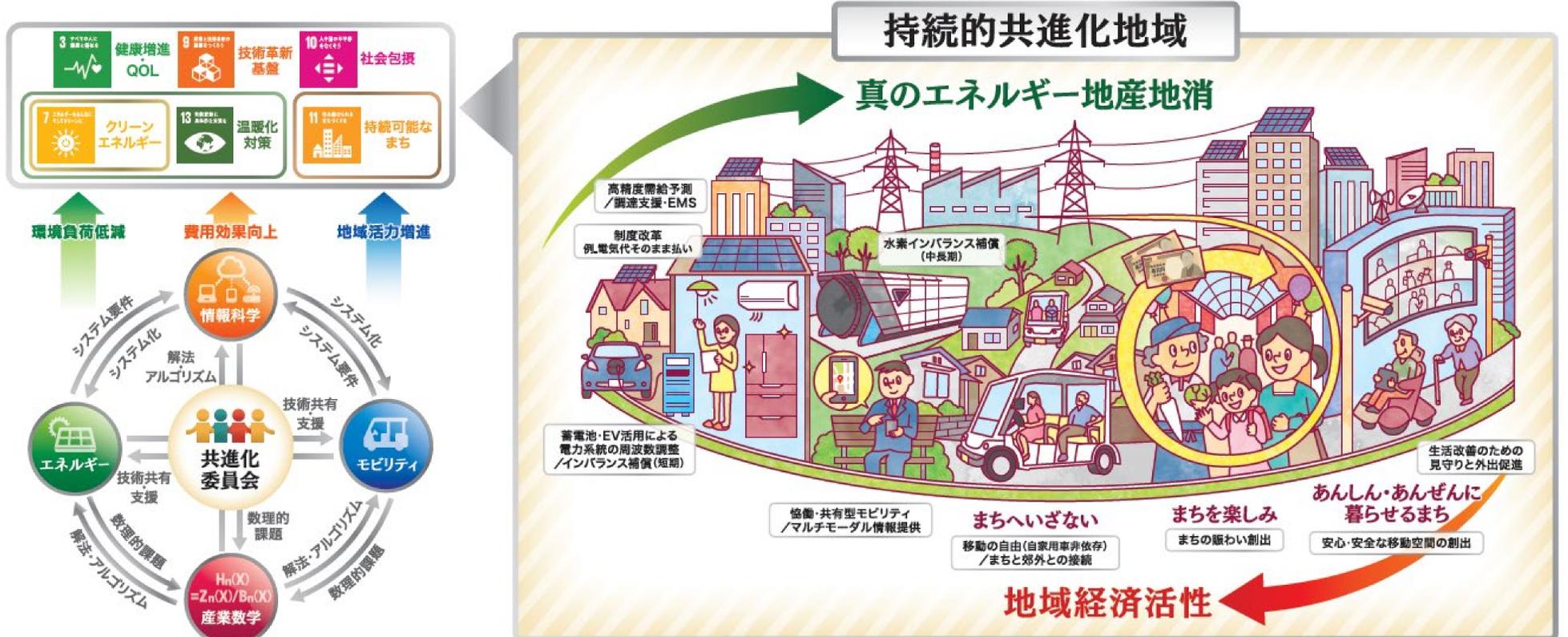


異分野技術の共進化を推進する共進化委員会による地域社会課題の解決

目指すべき将来の姿

地域課題が技術/制度の進化を促し、進化した技術/制度により地域課題が解決されることで地域が進化する、また、ある技術/制度の進化により他技術/制度の進化が後押しされ、それらによりさらに地域課題の解決が進む考え方を最大限に活用してSDGsに大きく貢献

- ▶ クリーンエネルギーを最大限に活用することで地球環境への負荷を極限まで低減(SDGs7&13)
- ▶ 同時に地域(都市と都市を取り巻く郊外)経済活性化と雇用創出、交通弱者への移動手段の提供により、あんしん・あんぜんで活力ある持続的地域を創成(SDG11)
- ▶ 上記を通じて、地域住民の健康面への配慮(SDG3)や社会的/経済的弱者に対する安価でアクセスしやすい地域サービスの提供(SDG10)も可能
- ▶ 九州大学/東京大学/横浜国立大学を中心に、参画企業/地方自治体を含めた形で共進化委員会を形成し、エネルギー/モビリティ/情報科学/産業数学といった異分野技術の共進化を積極的に仕掛けていくことで、地域課題を解決する社会実装を次々に生み出し続けるイノベーションプラットフォームを構築(SDG9)



研究開発の共進化テーマ事例

